

医労連速報「2003 秋闘」 NO.02

2003/11/07 日本医労連書記局発行 eメール;iroren@mxq.mesh.ne.jp
TEL03-3875-5871 FAX03-3875-6270 eメール;iroren@mxq.mesh.ne.jp

81組合で年末一時金の回答、健保労組・全日赤ストライキへ 政治の革新、年末一時金の獲得、安全 な医療確立めざし、労働条件の改善を！

03 秋闘統一回答指定日の 11 月 6 日、年末一時金を中心とした回答が一斉に出されました。6 日午後 11 時現在、全国 81 組合の回答内容の集約状況によると、平均 2.252 ヶ月 + アルファード、平均額 582,401 円となっています。これは、昨年実績比で平均 0.078 ヶ月マイナス、平均額で 33,794 円マイナスとなり、一時金を切り下げる内容となっています。医療経営者は、6 日に行われた回答や団体交渉において、一時金切下げに至った理由について、自らの経営責任には触れずに、患者減等による医療収入の落ち込みや、先行き不安に対する支出の抑制をあげており、経営のしわ寄せを人件費の抑制と「合理化」によって切り抜ける姿勢をあらわにしています。そこには、小泉内閣の悪政と対決し、多くの国民や職場の労働者とともに医療経営の危機を打開する視点が欠落しています。

日本医労連は、本日 11 月 7 日、政治の革新、生活まもる年末一時金の獲得、安全な医療確立をめざし、労働条件の改善を求めて全国統一行動を実施します。この統一行動には、健保労組が全国 22 支部で 1 時間ストに決起するのを始め、全日赤が 13 単組で 1 時間ストや指名ストを実施するなど、全国で約 7 万人がストや集会に参加する予定となっています。いま労働組合に求められているのは、小泉構造改革による規制緩和、病院つぶし、医療「合理化」と対決し、医療労働者と国民・患者の切実な要求実現と国政の革新を結合した闘いに立ちあがることです。本日は、03 秋闘の最大の結節点として、職場・地域で、医療労働者がスト・集会、地域宣伝など多様な行動を展開しましょう。

政府財界による“権利破壊・生活破壊”のもとで、実質賃金は 5 年連続ダウンし、労働者・国民の生活は深刻な事態となっています。いまこそ、労働組合が組合員の生活と権利の擁護、国民の生活改善を統一してたたかうことが重要になっています。私たちの要求は、「いのちをまもる」専門職・医療労働者としてギリギリの要求であり、人間らしく生き働く権利を保障するものです。「いつでも・どこでも・誰でも、お金の心配なく、安心して、安全な医療にかかることのできる体制の確立」は、国民と医療労働者の共通の願いです。日本の進路に関わる重大な政治戦も、あと 2 日で投票日を迎えます。この政治戦は、小泉内閣による医療・社会保障の切り捨てを許さず、労働者の国民の生活を改善する絶好のチャンスです。私たちと患者・国民の要求実現のために、さらに大きく共同を広げその先頭に立って奮闘しましょう。

以上

